

教育民生常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和6年11月15日（金） 第3委員会室
2. 出 席 委 員 五島誠委員長 前田智永副委員長 赤木忠徳 横路政之 宇江田豊彦 藤木百合子
3. 欠 席 委 員 なし
4. 事務局職員 橋本和憲議会事務局主任主事
5. 説 明 員 なし
6. 傍 聴 者 なし
7. 会議に付した事件
 - 1 教育条件整備について
 - 2 子育て支援について
 - 3 その他

午後1時5分 開 議

○五島誠委員長 ただいまより教育民生常任委員会を開会いたします。ただいまの出席委員は6名です。よって、直ちに会議を開きます。本日の会議において、傍聴を許可しています。

1 教育条件整備について

○五島誠委員長 本日の協議事項は2点です。閉会中の調査事項について、12月定例会でまとめをしていきたいと思っています。それに先立ち、先般は教育条件整備について、3課長に出席してもらって、中間報告を行った永末小学校の件、そして学校適正規模・適正配置基本計画の進捗状況と人員の確保等についてレクチャーを受けました。きょうは、本委員会として今後どのようにまとめていくのかを委員間で協議しますのでよろしくお願いいたします。まず初めに、前回の委員会のまとめといいますか、レクチャーを受けて感想等がおありだと思うので、そうしたことから話を始めていきます。委員の皆様、挙手の上発言をお願いいたします。赤木委員。

○赤木忠徳委員 我々が、放課後児童クラブの位置を定めず何らかの形で子供たちが放課後に安心、安全で過ごせる場所をとという願いをしたところ、僻地保育所は廃止すると明言されました。ただ、予算の関係で、まず今年度は子供たちが使いやすいトイレに改修するための補正予算を組むと。来年度以降については、はっきりと言える時期ではありませんが、新年度で何らかの形の追加予算を組む予定という感じです。それから、新しい放課後児童クラブの建物については、教育委員会が教室にして追加で改修を行うようなニュアンスも、まだはっきりとは言えない立場ではありますが言えたということは、ある程度我々が目指してきた方向性になるのではないかとということまでは来た感じがして安心しています。

○五島誠委員長 他にありますか。宇江田委員。

○宇江田豊彦委員 教育条件整備では特に施設面を議論の中心として取り扱ってきた永末小学校とその放課後児童クラブについては、急激に人数がふえてきたことと、学校教育における課題についてはあ

まり議論していません。30人、40人規模の小学校が短い期間で100人規模の小学校になったということで、教育を進める上で多くの課題があることも拝聴しました。例えば、クラスが荒れている状況であるとか、教職員の皆さんが仕事や課題が多くて休まれている現状なのではないかと拝察できる状況でした。地域として、従来からのつながりを持って保護者連携ができていないという課題があるので、教育条件整備ではその辺も厚く、教育委員会として人員配置等々について検討すべき項目があるのではないかと考えます。

○五島誠委員長 他にありますか。藤木委員。

○藤木百合子委員 何歩か前進したということで少し安心した面もありますが、小学校のトイレが改修されてよかった、1個ふえた、手洗い場所もふえて自動水洗になったと、かなり条件が整ってきたという話も聞いたものの、まだまだ歯磨きをする場所が少ない、手洗い、トイレに並んで待つ場合もあるといった話も聞くので、そういった整備も今後の課題にもなるのかなと思いました。それと、峰田小学校の板橋小学校への統合は、放課後児童クラブ、放課後子供教室なども特に保護者の意見もなく割とスムーズに進んでいるとのことですが、その辺をもう少し保護者の意見を聞いてみたいかなと思いました。あとは、永末小学校のいろいろな教育条件ですが、学校現場の先生からの声はどんなのかなと思うところもあります。校長先生などに聞くと今のところ特に問題は感じていないと言われますが、実際はどんなのかなという感想です。

○五島誠委員長 横路委員。

○横路政之委員 前回、各担当課からの報告を聞いて、おおむね要望事項については、委員会としては通してきたのかなと思います。時期はずれるにせよ、要望どおりの流れに進んでいくのではないかと思います。報告を行うときには、つけ加えて、他の要望についても丁寧に聞いて前に進めるように、というような表現してもらえれば次につながるのではないかと思います。

○五島誠委員長 前田副委員長。

○前田智永副委員長 皆さんが言われるように、永末小学校とその放課後児童クラブについては、要望を大いに聞いてくださっている部分もあるのかなと思いましたし、庄原自治振興区、東三区教育推進協議会などの要望を出された団体にも執行者が直接話をされていると伺って少し安心しました。これはもう進めてもらうしかないと思うので、今年度でできることはして、4月の予算要求に向けて動いてもらいたいと思います。教職員の充足状況について伺った部分で少し気になったのですけれども、今時点で休職されている先生が20名程度おられて、そのうち1人が要件を満たしておらず、時期が短いので充足できないという話もあったかと思うので、その辺の要件についても調べる必要があるなと個人的に思いました。それ以外にも、市職員の方以外で、充足はしているけれども必要な人数の検討が必要な部分があって、予算要求をしていきたいと言われていました。その辺をどのようにしていくのかは、本委員会としても、もっといろいろと話を聞きながら進めていく必要があるのかなと思いました。保護者からは、カウンセラーなどの悩みを聞いてもらう人が足りていないのではないかなという声を各地域で伺います。担任や主査の先生は仕事量が多いので減らせばいいのではないかと単純に思いますが、子供の声が届きづらいという話も聞いているので、議会としてもそういったことをもっと聞いていきたいなと思いました。

○五島誠委員長 皆さんから、まだもう少し調査が必要ではないかというお声もありました。3月定例会もありますが、先般もお伝えしたとおり12月定例会で全て報告を行いたいという思いがあります。

残り約1か月ということになりますけれども、その間でもう少し取り組まなければならないとかそういったことがもし皆さんあれば伺いますし、今からスケジュールをお示ししますが、12月定例会最終日の12月20日に報告を行いたいと思っています。そうすると、報告書については、逆算して遅くとも12月13日ごろにはおおむね8割、9割のものができ上がっていないかならないと思います。追加の調査等を行うにせよ、今月いっぱいがめどかだと思います。ありがたいことに、調査事項についてはその都度皆さんからまとめた意見をもっているので議事録を作成するだけなのですが、そうは言っても、調査自体は今月いっぱいまで全て終えて、どのようなことを報告するのか、もう少し提言をしたほうがいいのか、追加で言ったほうがいいことがあるのか、皆さんと議論して決めたいと思っています。それを踏まえて、今後の進め方について皆さんから御意見あれば伺います。赤木委員。

○赤木忠徳委員　　宇江田委員が先ほど言われた、学校が荒れているという話は、我々は知らないのですが、もし知っておられるのなら、問題があるのならそれなりに追加調査をする必要があると思います。宇江田委員はどのような御意見で、どれくらいの情報を持っておられるのかお聞きします。

○五島誠委員長　　宇江田委員。

○宇江田豊彦委員　　私も断片的な話でしかありません。しかし、多くの保護者の皆さんから、というほど多くのつき合いがあるわけではありませんが、何人かの方からお話を伺う中で、我が子が学校に行けなくなったというお話や、その中には、なかなかうまくコミュニケーションがとれなくて学校に行けなくなるような要因をつくる児童の存在を提起される方がおられたり、保護者の皆さん、PTAの役員が何人かでローテーションをつくって学校に、悪く言えば監視をしに行かなければならない状況があったことも伺っています。ですから、全くそういう事実はないということにはならないとは思いますが、こういう問題を明らかにするのはなかなか難しいので、学校から聞き取ることはなかなか困難だと思います。この前、課題だなど感じたのは、美湯ハイツにお住まいではなかった方が新たに美湯ハイツに家を購入されて移り住まれて、今までの小学校には楽しく行っていたが、行けなくなったと。転校して元の小学校に戻りたいと小学校側に言ったら、それはできません、そんなことを言わないでくれ、こういうことを外部に漏らさないようにしてほしいと言われて学校現場に対して不信感を持たれているというお話を伺いました。だから、結構深刻だということをお聞きすることができるのではないのかなと。この前、教育指導課長にも、人的な措置をして課題がある学校にはしっかりと対応をお願いしたいと申し上げました。そういう課題がある学校は多分、永末小学校だけではないと思います。各学校においてそういう実態があるのではないかと、各学校において不登校が多く見られることからそういう取り組みが必要なのではないかと思ったので申し述べました。私が知っているのはその程度の話です。

○五島誠委員長　　藤木委員。

○藤木百合子委員　　私は谷口議員から、ある日、永末小学校のそばを通った際に子供が学校から飛び出してきて、それを先生が田んぼの中のほうまで一生懸命追いかけて、子供は元気だから先生が来るのを待って追いつかれたと思ったらまた走っていくという、鬼ごっこではないですが、すごい光景を見たのでどうなっているのかなと感じたという話を聞きました。でも、校長先生は永末小学校の子供はすごくいい子ばかりで落ちついていいますと言われていたよなと思いながら聞きました。そういった現状があるということになると、先生がその子について行ったらあとの子供たちはどうしているのかなと思いました。

○五島誠委員長 赤木委員。

○赤木忠徳委員 今話を聞くと、決して永末小学校だけの問題ではなく、いろいろな学校でそういうことが起こっている。児童が急激にふえたことによるもの以外にもそういうことが起こり得ると思います。聞いていて気になったのは、元の小学校に戻りたいと言ったら、それはできませんと言われたと。それも、他に漏らさないでくださいと。これは何なのかなと思います。その子にとって非常に大切な小学校の時期に、その子の希望に寄り添う形にするのが教育であって、形だけで物事をするのは、学校区を決めているわけでも何でもないので、例えば、親の仕事の関係でこちらに行きたいという子がいればそれもできる状況です。子供たちを中心に考えてすべきだと思います。その辺は個人的にも話をすべきだと思いますが、本委員会ではどうではなくどなたかが学校もしくは教育委員会に対して状況を言うべきだと私は思います。

○五島誠委員長 横路委員。

○横路政之委員 本委員会のメンバーでそういった相談を直に受けた人がおられるのであればいいのですが、そういう話を聞いたということで、デリケートな問題になる気がするため、先ほど赤木委員が言われたように議員個人として聞いたというところで置いておくのが第一だと思います。少しずつ話の内容が変わってくるのではないですか。慎重に動かなければならないと思います。ただ、そういった声があるのはよくない感じがします。

○五島誠委員長 赤木委員。

○赤木忠徳委員 本委員会ではどう動くのではなく、どなたか詳しく知っておられる方がもう1回教育委員会や学校から話せる範囲内で詳細を聞いて、子供中心で考えて対応してほしいという要望を出すくらいのレベルだと思います。その辺は、聞いた以上は放っておくわけにはいかないと思います。対応の仕方については委員長にお任せします。

○五島誠委員長 宇江田委員。

○宇江田豊彦委員 このことについては、私が話を聞いて、教育委員会に話をしました。その方がおっしゃられていたのは、まず、担任が休んでいるけれども、その臨時任用の教員が決まらないうと。正直な話、わんぱくな子がいてしんどいから元の小学校へ戻りたいと言っても戻る手続きをしなさいという指導はなかなかしてくれない。大きく言えばこの点です。一番いいのは今行っている永末小学校に行ける状況になること。第一弾としては、担任の先生がずっと欠員になっている状況を早くリカバリーしてほしい、情報を外に出していけない、ここだけの話にしてくださいという取り扱いは間違っているという話をしました。元の学校へ戻してあげる取り組みはできないのかという話はしていません。それは最悪の場合ですから。そういう話を少し教育指導課長にして、人的措置は割と早く、話をして3日くらいしてから完了しました。

○五島誠委員長 わかりました。そうすると、前回のレクチャーでも言われていましたけれども、そうしたことも含めて、休まれた方の補充については全てできているという説明でしたが、我々に見えない部分で、決まるまでの間にいろいろな課題があったことも事実だと思います。心の病も含めて休まれる方が出てきていることも事実ですし、また、市内には環境が大きく変わった小学校も存在します。そうしたことも含めて、不登校の方がふえている状況も根っこの部分是一緒だと思います。家庭環境や児童の環境など、今いる先生方だけではなくさまざまな形で人的な配置をしていかなければならない状況にあることは皆さん共通の理解かと思うので、そうしたことはまとめの中で強く訴えてい

くように考えます。そのほか、今後の進め方等で何かあれば伺います。よろしいですか。そうしましたら、きょうの委員会後にまとめの文章をつくり始めようと思っています。もちろん事実をそのまま書くのですが、経過と、最終的なまとめや提言については、素案ができあがった段階で委員の皆様にもたおししてブラッシュアップしていこうと思います。それでよろしいですか。宇江田委員。

○宇江田豊彦委員 これ以上調査を進めるのは時間的に困難だと思います。調査を進めるためには相当深入りした調査をしなければ、今までどおりの調査を延長してもなかなか本質は見えてこないで、調査はこの程度にとどめてまとめの作業に入って、構成する委員の意見をしっかりと取り入れてもらうのがいいと思います。

○五島誠委員長 わかりました。それでは、先ほど申し上げたとおりにします。

2 子育て支援について

○五島誠委員長 続いて、2点目、子育て支援についてです。こちらも12月20日に報告を行いたいと思っています。この間、先月は行政視察にもお伺いさせてもらって、そのまとめは既に行いましたけれども、そのことは庄原市議会だよりのウェブ版に載せさせているので、また御確認ください。そうしたことを全部踏まえて最終的なまとめをしたいと思います。皆さんのほうで特にこういったことをというのがあれば伺います。宇江田委員。

○宇江田豊彦委員 どこの市町も競争するかのごとく子育て支援を手厚くしています。例えば、医療であれば、18歳未満は全て無料にしますという施策を打っています。自治体間競争が激化していくわけです。三次市はここまであるのに庄原市はなぜここまでないのか、庄原市はこれを実施しているのに三次市はなぜ実施していないのかという、自治体間競争をあおるような子育て支援の在り方が本当に正しいのだろうかと思うのです。子育て支援のほとんどが補助金施策ですから、このまま競争のごとく補助金施策で争っていく方向性がいいたいのだろうか。奈義町や大村市を視察してもらいましたけれども、周辺の状況が全く違うわけです。だから、そういう意味で、子育て支援施策だけを捉えて子育て支援が進むのかという視点が要るのだと思います。だから、住みやすさや、若者が定住できるようなことなどにもっと視点を置くべきではないのかなと。ただ単に子供が生まれて補助金が出るとか、医療費が無料になるとか、保育料が軽減されるとかさまざまな施策を打っていますが、それ自体で子育て支援が進むという考え方を改めなければならないのではないかと。赤木委員も、啓発が足りないのではないかと、子育て支援のまちとしての位置づけをきちんとしなければならないのではないかと盛んに言われています。そのように子育て支援を具体的な施策だけで考えるべきではないと、そこへ矮小化していくと政策のひずみが生まれてくるのではないかと懸念しています。

○五島誠委員長 他にありますか。横路委員。

○横路政之委員 前に赤木議員が言われていましたけれども、子育てにプラスして他の課にまたいだ支援もあります。それらを網羅するような広報媒体が要るのではないかと思います。この前の広報も、高校生の欄を見ると今こういうことがあるというのが一目瞭然なのが随分いいなと思いました。それにつけ加えて、奨学金とか、他の課にまたがったものをつくるべきだということも入れてもらえれば。知らない人もいっぱいおられると思います。

○五島誠委員長 他にありますか。藤木委員。

○藤木百合子委員 いろいろと視察などをさせてもらって、庄原市もそれなりに子育て支援を頑張っていることが理解できました。昨日、西城での市民と語る会で、西城子育て支援センターは曜日を決めて週に2日しか開いていないので、月曜日から金曜日まで毎日開けてもらえればすごく助かると言われていた方がおられました。そういった具体的な意見が出たり、子供たちが小さいときに遊びに行く場合は三次市のみよし森のポッケなどをよく利用したりする、そういった高齢者と子供たちが交流できるような場所がほしいと若いお母さんが言われていました。ほしいものはたくさんあるし、充実しなければならないものもたくさんあります。この間、大村市で室内にある素敵な場所を見て、こういうものが庄原市にほしいなという思いはあります。財政力や周辺の関係で全て実現できるわけではないことも理解したところですけども、少しずつこういったものが実現できればいいなと思いました。子育て中の方の意見をもっと集約していかなければならないと感じました。

○五島誠委員長 他にありますか。前田副委員長。

○前田智永副委員長 先ほど宇江田委員も少し触れられましたけれども、子育て宣言のような、庄原市は子供たちを応援しますというようなものが必要なのではないかと思います。先ほど藤木委員が言われていましたが、子供たちや子育て世代の声や、そこにしっかりとかかわっておられる子育て支援の関係者の方などから、庄原市に足りないものといえますか、子育て支援に特化してこういうものが要だということも踏まえたものと、今準備しておられる多世代の集いの場がマッチしているのかどうかも含めて、庄原市として何をしていけばいいのかがいまいち見える化できていないと思います。もうあまり期間がないのでどこまでできるか悩むところではありますが、そこをもう少ししっかりと見える化した上で報告ができればいいなと私は感じています。

○五島誠委員長 皆さんからさまざまな意見をもらいました。大きく言えば、啓発、市民の皆さんや市外の方にしっかりと知ってもらい取り組みが必要だというのが1点。それから、児童福祉課に限らず、あるいは子育て支援施策に限らず、市役所全体で取り組んでいく必要があるということと、本委員会としても、例えば、補助金施策や無償化施策などの競争の部分だけを取り上げるのではなく広い視点で、若者が住みやすいまちや、子供たちを育む環境としてとてもいい場所だという視点で施策を進めていくように提言するのがいいのではないかとという3つの柱があるかと思います。先ほど前田副委員長から、実際に子育てをされている方から本当のニーズを聞いて、意見交換をするなりして最終なまとめにしてはどうかという提案がありました。これについては、確かに期間がなくて厳しい部分もありますけれども、委員長としても最後にはしてみたいなと思いましたので調整したいと思いますが、皆さんよろしいですか。横路委員。

○横路政之委員 そういった団体の方がおられれば。ただ、その団体にどれだけ子育て中の方が、ほとんどの若いお母さんはあまり関心がない。熱心な方はそういったグループに入って発信されるのだけれども、問題はそれ以外の方ですね。児童福祉課などに時々相談などをしに来られているお母さん方の声が大事になるのかなという感じはしています。

○五島誠委員長 前田副委員長。

○前田智永副委員長 子育て世代の方が所属する団体を本市の中で探すのはなかなか厳しいと思うので、例えば、子育て支援施設をお伺いしてそこに来られている方と話をするとか、子育て支援をしている方のお話が聞けたらどうなのかなと個人的には思うのですけれども。

○五島誠委員長 暫時休憩といたします。

午後1時46分 休 憩

午後1時59分 再 開

○五島誠委員長 休憩前に引き続いて、会議を再開いたします。先ほどありました、子育て支援施設でお話を伺うことについては、先方との調整もあるので、一応、12月2日をめどに検討します。これをもって子育て支援についても調査を終了して、報告をつくりたいと思います。並行して、先ほどの教育条件整備と同様に、まとめの部分、提言の部分についてはある程度委員長と副委員長でまとめさせてもらって、そちらを皆さんに都度確認してもらって12月20日の定例会最終日の本会議で報告を行う流れにしたいと思いますので、お知りおきください。よろしくお願いいたします。

3 その他

○五島誠委員長 その他で、委員の皆さんで話のある方がおられれば伺います。よろしいですか。それでは、以上で教育民生常任委員会を閉じます。

午後2時00分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委 員 長